

国分高校通信〈第19号〉

平成29年度版

平成29年 12月 26日(水)

鹿児島県立 国分高等学校

霧島市国分中央2丁目8番1号

TEL 0995-46-0001

サイエンス部課題研究発表会

12月20日(木)本校理科による課題研究発表会が視聴覚室で行われました。審査員には霧島ジオパーク専門員の石川徹先生を招き、保護者の方々にも多くの参観を頂きながら6班が日頃の研究の成果を発表しました。全国大会へ3班、2月の九州大会へ4班が出場を決めているとあって非常にレベルの高い発表会となりました。各班とても興味深いテーマとなっています。「円環に張った弦の固有振動～星形五角形は免震構造か?～」 「貝殻から聞こえる「ゴー」という音にせまる。～振動数測定装置と外耳のノイズキャンセル効果～」 「ルービックキューブの謎に迫る～N×N×Nの組み合わせ式の一般化～」 「お湯は先に凍るか?」 「天降川の旧河道はどこか?～江戸初期の国分平野の姿～」 「幸屋火砕流の影響から7300年立ち直っていない?～大隅諸島のエンマコガネと火砕流の関係～」



ルービックキューブの謎



エンマコガネと火砕流



お湯は先に凍るか?



貝殻から聞こえる「ゴー」



星形五角形は免震構造か?



天降川の旧河道はどこか?



真剣に響き入る聴衆



石川専門員からの講評

最後に、ジオパーク専門員の石川先生からは「課題研究に主体的に取り組むことにより科学の営みを楽しんでください。」という講評を頂きました。

ふたご座流星群観測会

12月13日(水)、午後7時～8時に本校グラウンドにふたご座流星群観測会を実施しました。地学オリンピック出場を目指す理科の生徒を中心に、地学専門の若松先生の指導の下、第一グラウンドにブルーシートと断熱マットを敷き、防寒着を着込んで横になって観察しました。日常の学習活動では体験できない天体現象の観察学習を行いました。当日は気温は氷点下に迫る寒さでしたが、澄み切った夜空を明るく横切る流れ星に寒さを忘れて必死で願い事をするのでした。



2学期終業式・表彰式

12月22日(金)2学期終業式が行われました。

校長先生は式辞で、先日の人権同和教育の講話から

『人間は生き方で評価される』と、アメリカのキング牧師の『I have a dream.』で有名な演説の中の『私には夢がある。私の4人の幼い子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むという夢である。』という言葉を取り上げ、さらに国分高校生徒会100周年の決意の

『いじめや差別を許さない態度を持ちます。』と結びつけて、態度つまり行動に移すことの大切さについて述べられました。さらに、「3年生はセンター試験目前です。毎日遅くまで教室や職員室前で頑張っている姿が見られます。その努力が実を結びつことを心から願っています。」と結ばれました。

表彰式では県児童生徒作曲コンクール(優良賞)、県高校美術展(田中一村記念美術館賞、秀作賞)、県高校書道展(大賞、高文連賞、秀作賞)、県高校揮毫大会(優秀賞)、県高校写真展(高文連賞、写真専門部賞、特選)と、数多くの生徒が表彰されました。

このうち書道部、美術部、写真部は先日のサイエンス部に続いて、H30年度全国総文祭(長野県開催)出場権獲得しました。

第48回鹿児島県高校書道展 大賞受賞

2年福重春乃さん最高賞受賞
・・・県内59校602点の応募作品のなかから本校の福重さんの作品(「中務集」の臨書)が選ばれました。古典の特徴をよく捉え、繊細で優雅な筆致でリズムよく書かれているところが高い評価を得ました。

